

◎アメリカ最高協議会（1993年3月17日）でのスピーチ

自分の国、自分の地域を、自分たちの責任と努力で、自分たちの幸福のために、寂光土へと変えていく。それが広宣流布の正しき道程なのである。その労苦はすべて自分自身の永遠の福運となる。

「足下を掘れ、そこに泉あり」という言葉が、私は好きである。足元が大切である。一つ一つ目標を明快にして、着実にていねいに取り組んでいく。その積み重ねのなかにしか道は開けない。

（『池田大作全集』第82巻241ページ）

◎随筆 我らの勝利の大道 14

動けば、何かが変わる。直接、会えば心が近づく。誠実に語れば、一步、強い絆が生まれる。

気どらず、気負わず、誠心誠意の対話で、友の心を開拓していけばよいのだ。

（聖教新聞2010年6月1日付）